

1. 林業が盛んな紀伊山地

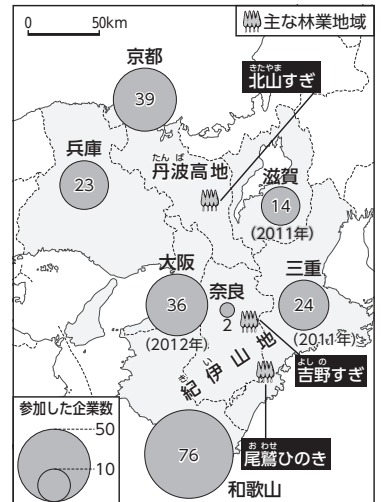
- (1) 資料Ⅰで、「企業の森づくり活動」の事例数が最も多い府県はどこだろうか。

和歌山県

- (2) 資料Ⅰにみられる、北山すぎ、吉野すぎ、尾鷲ひのきに共通していることを挙げてみよう。

(例) 高品質なブランドの産地として知られ、建築材や家具などに加工されている。

資料Ⅰ 近畿地方の「企業の森づくり活動」の事例数



2. 林業が抱える課題とその対策

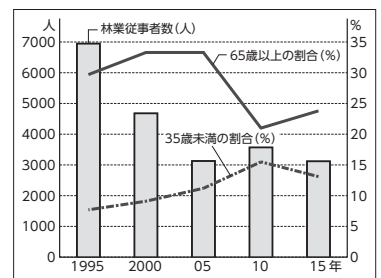
- (1) 資料Ⅱから、どのようなことが読み取れるだろうか。

(例) ・林業従事者数が半数以下に減少している。
・65歳以上の高齢者の割合が2005年から2010年にかけてやや減った。

- (2) 35歳未満の割合が少しずつ増えた理由を挙げてみよう。

(例) 国や自治体が、林業の知識や技能が習得できるよう支援する「緑の雇用」制度を行っているため。

資料Ⅱ 奈良・和歌山・三重の3県における林業従事者数の変化

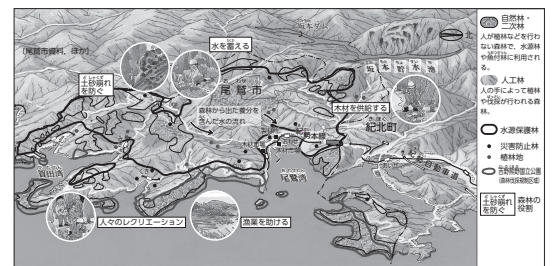


3. 環境林を保全するために

森林には、木材の供給以外にどのような役割があるか、資料Ⅲから読み取ってみよう。

(例) ・水を蓄えて土砂崩れを防ぐ。
・レクリエーションの場となる。
・海へ養分を供給し、漁業を助ける。 など

資料Ⅲ 尾鷲の林業

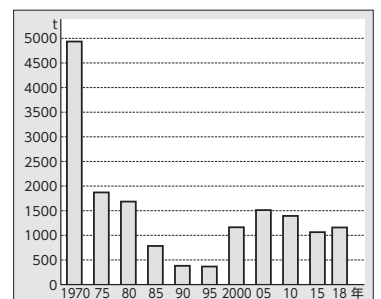


4. 水産資源を保護する取り組み

資料Ⅳから、兵庫県のスワイガニの漁獲量の変化を読み取ってみよう。

(例) 1990年代までは年々漁獲量が減少してきたが、2000年ごろから漁獲量がやや回復してきた。

資料Ⅳ 兵庫県のスワイガニ漁獲量の変化



本時のまとめ

◆ 近畿地方で行われている森林や水産資源を保全・保護するための取り組みについて、説明しよう。

(例) 林業では「環境林」を保全したり、企業が植林を行ったりすることで、森林資源の保全の取り組みが行われており、水産業では、日本海側で盛んなカニ漁で、とるカニの大きさや量、漁の時期などを制限することで水産資源の保護に努めている。